

連日協議 野党案採用

与野党微妙な距離

与野党とも震災対策で歩み寄りを
見せている。舞台は「各党・政府震
災対策合同会議」。藤井裕久首相補
佐官、民主党の山口壮政調筆頭副会
長、自民党の谷公一副幹事長ら実務
者による協議がほぼ連日開かれ、▽
福島第1原発での放水にアーム約60
メートルの生コンクリート圧送機使用▽海
外への原発事故情報の丁寧な提供▽
がれきと化した家屋や自動車を地方
自治体が所有者の財産権にかかわら
ず撤去できる指針——などが実現し
た。政府が野党側の提案を採用する

例も増えている。

しかし、野党側には不満もくすぶ
る。同原発から20〜30キロ圏内の屋内
退避指示が出されている地域住民へ
の対策に関し、公明党の斉藤鉄夫幹
事長代行は「各党とも救援の必要性
を早くから指摘しているのに、政府
は対応していない」と批判する。25
日の会合では「がれき撤去指針に政
府、民主党がとりまとめた」との趣
旨の文言が入っていたことに谷氏が
猛抗議し、民主党の岡田克也幹事長
が平謝りする一幕もあった。

それでも自民党の谷垣禎一総裁へ
の菅首相の入閣要請が不発に終わ
り、当面は同会議が与野党協力の試
金石となる。

谷垣氏も26日はテレビ東京の番
組で「期間を区切るとか、まった
くないわけではない」と述べ、将来
の大連立の可能性には含みを残し
た。ただ、与野党は依然子ども手当
を半年延長する「つなぎ法案」を
巡って対立を続ける。震災対応で一
致協力できる、との見通しは立たな
い。